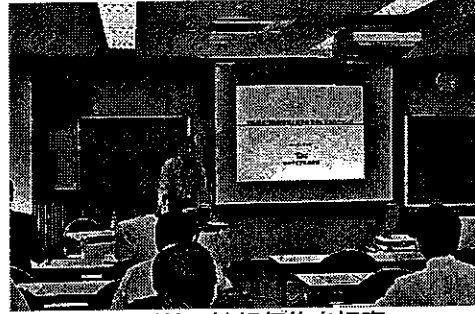


2014.8.5
新報新報

「中国環境ビジネスセミナー」開催

PM2.5対策で商機探る

新潟県、にいがた産 ピアテピア総合研究所 始。現地の対応を調査
 業創造機構、シエトロ 所長が講演した。PM した結果、二酸化硫黄
 新潟は7月28日、三条 2・5(微小粒子物質) (SO₂)は発電所、
 商工会議所で中国環境 対策等、県内企業のビ セメント工場への排煙
 ビジネスセミナーを開 シネスチャンス拡大を 脱硫設備導入が進み改
 催し、高木正勝日本テ 支援する目的で中国の 善傾向にあり、二酸化
 大気・水質汚 窒素(NO_x)は中国
 染、省エネ・ 国内の脱硝技術(ボイ
 排出削減目標 ラ、発動機等)対応が
 の達成状況、 遅れている。
 商談に臨む要 注目される粒子状物
 旨を説明し 質(PM2.5、PM
 た。 10)対策は非常に遅れ
 同国は13年 ており大きな課題と指
 からPM2. 摘した。
 5を追加した 15年1月の環境保護
 新基準による 税導入に向けた法案が
 大気汚染モニ 準備段階で、年間1千
 タリングを開



取引前の情報収集を提案

同国は13年
 からPM2.5
 を追加した
 新基準による
 大気汚染モニ
 タリングを開

億元規模の税収が中国 求められる環境関連
 国内の環境インフラ整 技術は都市污水处理技
 備事業に配分されると 術、工業廃棄処理、重
 見通しを示した。 金属汚染処理、騒音、
 振動抑制技術等176 が多く、実機による実
 項目。商談に臨み中国 演、現地パートナーと
 企業側が具体的ニーズ の共同実証が効果的と
 を理解していない場合 報告した。